

各紙掲載記事

東京新聞ショッパー さいたま大宮・上尾版
平成23年12月8日発行

県神社庁がモダンな神棚「いのりシリーズ」販売



問い合わせは同庁
（電）048・643・3542へ
県内の取り扱い神社でも購入できます。

埼玉県神社庁 替えや手入れをしなくて済む（さいたま市大宮）喜ばれているようです。壁区高島町1の40掛けタイプの「いのり507」は、現代の住「1」写真左は3枚の札宅事情に合わせた「まつる」ことができる「3モダンな神棚「いのり」シリーズ」で、昭和200年のりシリーズ」を、以上の天然木曾ヒノキを使用販売しています。用、2万1000円、置き洋風住宅にもマ型の「いのり301」で、同じツチするシンプル着は、神社に間わりが深なデザインで、重い「七・五・三」の数字をさ約1・24と合計した5欄の形成合板をンパクト。まつりやわらかな曲線のフレームに仕上げました。1万2500円

Fuji Sankei Business i.
平成23年12月9日発行

場所を選ばない 未来の神だな「いのりシリーズ」

埼玉県神社庁が頒布

神だなは、お神札を納め、神様をお祀りする神棚な「こころ」の語り所である。かつて、わが町ではどこに家でも神だなが存在し、国や土地の神様をお祀りし、国家の安寧と室内安全を願い、早稲で豊かな日々への感謝を込めて神だなる祈り、向き合うことで心身を浄化した。日本人の日々の暮らしの中に昔から定着してきた風習の心。

神だなるは、近年、住まいの神棚化など住環境の近代化と高齢化に伴ない、徐々に一般家庭で目にすることが少なくなった。しかし、日本人の神棚を敬う気持ちは、昔も揺らぐことなく、老若男女を問わず新年にはお参りし、一年の御山安全と繁栄を祈願する。また、お参りを契機として、人生の節目には神社にお参りすることが多い。さらに結婚前、冠婚成嫁、喪事、新築、新生活、お祝い、お参りなど特別な行事があれば、お参りし願掛けもする。時代が変化しても、われわれの生活と神だの関わりは変わらない。

埼玉県神社庁は、現代の住宅にマッチする神だなる。神棚を敬

する人々の苦悩に寄り添うために、「未来の神だな」デザインコンテストを実施し、一般公募によりデザイン募集した。全国30以上の応募作品の中から「大賞」が「いのり501」(懸掛け型)、「優秀賞」が「いのり501」(置き型)の神だなるとして完成し、頒布されている。

取手型 埼玉県神社庁教化事業部長は「住環境の近代化と高齢化に対応し、神だなるの語り所も変わらなければならぬ。神だなるの固定観念を捨て、本来の「祈る心」を大切にしていただきたい。神社界が「いのりシリーズ」を頒布する契機は大変大きい」と話す。



未来の神だな「いのり501」(左)、「いのり501」(右)

「いのり501」は、お神札が2枚入る「ニ」仕様で、お神札の型のため、お札に合わせたお神札やお神札の取り替えができる。昭和20年以上の天然木神棚を模倣し、UVカット加工で日焼けによる変色を軽減している。立脚のアクセル軸は軸のモチーフを配している。

価格 置き型 2万1000円
「いのり501」は、七五三歳をモチーフに三、五、七の合計が15歳を指す合わせた形成合

板フレームで、2枚のオリガラスの側にお神札をお祀りする。シンプルながらデザイン性の高さのため、場所を選ばない。 頒布価格1万2500円

■埼玉県神社庁
〒130-0802 さいたま大宮区高島町1-407
☎048-043-3542
<http://www.saitama-jincho.or.jp/>